学校番号	２１２

令和５年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	３単位	年	３年
類型等	文型・文理型・理型（共通）						
使用教科書	「現代高等保健体育　改訂版」　（大修館書店）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・各種目の特性に応じて、適当な人数の班編成を行い、各班で練習計画を立て、自分たちで基本技術の練習やゲームなどを行おう。
・男女混合のチームで活動することで、生涯にわたってスポーツに取り組む意識を高めよう。
・体育の授業を通して、運動をする・見る・支える・調べるといった関わりを学び、自分にあったスポーツライフを考えてみよう。

2　学習の到達目標

・生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を、運動場面だけでなく、日常生活で生かせるよう、ライフステージと健康について知識や理解を求める。また、健康の保持増進のための実践力の育成と、体力の向上を図り、適切に判断する能力を養う。
・各種目の基本技能・技術を確立し、向上させる。
・仲間との協力･信頼関係を育む。
・安全に配慮する能力を育成する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	互いに協力して運動している。 公正な態度で競技している。 運動の楽しさを体得している。 課題解決のために努力している。 安全に配慮して運動している。	運動の合理的な行い方や、計画的な活動の仕方を工夫し、適切な課題を設定している。 学習で得た成果を自ら応用・発展させ、実生活に生かしている。	運動の合理的な実践を通して、種目の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開している。 各領域の運動特性に応じた段階的な個人的･集団的技能を身につけている。	試合の運営方法を身につけている。 運動の特性、練習方法、ルールを理解している。 スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解している。
評価方法	受講態度の観察 ノート レポート　等	ノート レポート 体育理論のテスト　等	技能観察 スキルテスト 記録 ノート　等	ノート レポート 体育理論のテスト　等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
全学期	体つくり運動	体ほぐしの運動 体力を高める運動	○	○	○	○	a:運動の楽しさや心地よさを味わうことができるよう、健康･安全を確保して自主的に取り組もうとしている。 b:運動の計画を立てるとともに、自己の課題に応じた取り組み方を工夫している。 c:自己の体力や生活に応じて、体ほぐしの方法と体力の高め方を実践的に工夫している。 d:運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解している。	受講態度の観察 ノート スキルテスト 技能観察等
	体育理論	運動・スポーツの文化的特性 運動･スポーツの学び方 豊かなスポーツライフの設計	○	○		○	a:スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について、意見交換や発表などの活動を通して、自主的に取り組もうとしている。 b:必要な情報を比較・分析し、考えをまとめ、説明することができる。 d:スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について、説明したり表現することができる。	受講態度の観察 ノート レポート 筆記テスト等
	球技	バスケットボール バレーボール バドミントン テニス 卓球 サッカー ソフトボール	○	○	○	○	a:球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、健康・安全を確保して自主的に取り組もうとしている。 b:生涯にわたって球技を実践するために、自己の課題に応じた練習の方法や、競技の方法を工夫することができている。 c:球技の特性に応じた技能を身につけている。 d:技術や体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講態度の観察 ノート スキルテスト 技能観察等
1学期 2学期	水泳（女子） 水泳（男子）	クロール 平泳ぎ 背泳 バタフライ	○	○	○	○	a:水泳の楽しさや喜びを味わうことができるよう、健康・安全を確保して自主的に取り組もうとしている。 b:生涯にわたって水泳を実践するために、自己の課題に応じた練習の方法や、競技の方法を工夫することができている。 c:水泳の特性に応じた技能を身につけている。 d:技術や体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講態度の観察 ノート スキルテスト 技能観察等

※　表中の観点について　　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断　c:運動の技能　d：知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。